

第1回 添川小学校学校運営協議会記録

令和5年5月31日(水)

9:30~11:30

協議等の内容

(1) 令和5年度学校経営について

- 校長が「学校経営の大綱」に沿って説明(内容は省略)
- ・ 令和5年度 学校経営の大綱について、全員が承認

(2) 学校運営協議会員の方から

① 質問意見

- ・ あと2年しかないのかという感想である。令和8年度からの義務教育学校は5年生からは中学校の校舎に行くということだがまだよくわからないところがある。
- Q 添川小学校もあと3年でなくなる。地域と学校でどう関わっていけばよいのか。
- A あまり深く考えずに、現在実施している活動の中で義務教育学校になってからも継続してほしい活動は何か考えてほしい。今まで3年生でやってきたことを2年生でやる等、再構築してほしい。添川小学校は西校舎だから4年生のことまで考えていけばよいのかということそうではない。中学校も地域のことを考えて。「地域学校協働本部」の中で校舎のことを考えてほしい。
- Q 二小、手ノ子小も一緒に協働本部になるのか？
- A 義務教育学校が設置されてからは、町一本の本部になる。
 - ・ 授業を見ると我々の時代と全く違う。教育機材も違う。クラスの人数は多かった。先生は怖かった。先生の言うことを黙って聞いていたが、時代は変わるのだなと思った。仕事からみで講習会がある。課題に向けてチーム、グループで発表したりする。それを考えると発表できることはいいことだと思う。
 - ・ 「飯豊東部町づくり会議」がある。温泉まつりや運動会をしている。協力体制をどうしていくか考えないといけない。添川小学校があるうちは全面的に協力していきたい。
 - ・ 今日の参観日は、祖父母が意外と多かった。2人で来ている人もいた。コロナが落ち着き久しぶりに孫の顔を見ることができるのはよい。複式は背中合わせで勉強していたが惑わされずによくやっているなど思った。以前も複式が2つあった時があった。先生が行ったり来たりしていた。今日は補助の先生がついていたようだ。やり方はその時その時あるのだろうなど思った。
- Q 総合学習で「探究課題」というのは今年初めてなのか？学習発表会でそういう発表をするのか？
- A 現在の学習指導要領で平成30年頃から「探究課題」を設定して学習を進めることになっていたが、本校ではその設定があいまいになっていた。今年度は学年ごとの「探究課題」を明確に設定している。できるだけ個人の段階から課題設定をさせたい。学習発表会では、それらのまとめの発表と同時に、劇などの発表になると思われる。
 - ・ 総合などでまとめたことをせっかくなので発表できる場があればよいのでは。自主性を持って取り組むということはいいと思う。
- Q 地域学校協働本部の一本化という話があるが、公民館にもものづくりセンターがある。関わりはどうしていくのか。
- A 町づくり会議を度外視するものではない。今まで以上にコミュニケーションを取っていく。議題にしてもらうということ。
 - ・ 今年の運動会は、ぜひ、地区と学校合同での実施を。3年もやっていないので。

- ・ 義務教育学校になっていくのだなあと思った。これから協働本部も立ち上がるが、今後一本化していくのだろうかと思った。
- ・ 安全協会としては、地域と子ども達を守るという立場。運動会はぜひやりたい。
- ・ 各地区のやり方が違うのではないか。一本化は難しいのでは。
- ・ 二期制や複式学級が2つの時は以前にもあった。その時に成績は落ちないのか心配したものだった。先生方も頑張ってもらいたい。
- ・ 来年度は複式2学級になるが、再来年度はまた1学級に戻る予定。

Q 不登校児童はいないのか。

- A 不登校の子どもは欠席30日以上という目安があり、その基準で言うと昨年度は1名いた。しかし、今年度は昨年よりも良くなっている。授業に入れない子もいるが改善傾向にある。いじめが原因で来られない子はいない。
- ・ 久しぶりに授業を見ることができた。マスクを外している子が増えた。そのためか、声もよく出て届いていた。
 - ・ 我が子が複式学級の中において、複式学級3年目になる。学習リーダーがいて自分達で学習を進めようとしており、そのやり方に慣れている。
 - ・ 義務教育学校に引き継ぐ地域学習のリストアップについて。添川は5・6年が田植えをしているが二小は学年行事。同じ活動をしているものがあるなど、学校によって違うこともあるようだ。添川の水芭蕉、学校林は素晴らしい活動。なくしたらもったいない。
 - ・ P T Aの関わりとしてはほかの学校でも共通に親子読書をしている。共通にできるように連絡協議会で話し合っている。
 - ・ 明日、義務教育学校開校準備委員会に出席する予定である。そこで話をしていきたい。そして、その都度聞いて伝えていきたい。
 - ・ リーダーでなくても話せる授業、いいと思った。探究学習は大なり小なり機会を作ってもらいたい。
 - ・ コロナも落ち着いたので、地域行事の温泉まつり、運動会、文化祭等を元に戻したい。6月に全事業の議決をする予定。公民館活動と子どもの関係、地域の行事にどう参加させていくか等が今後の課題。郷土理解を積極的に進めたい。

② 児童の様子と児童を取り巻く環境について（含：地域での児童の様子）

- ・ あいさつがとてもいい。
- ・ 立哨してみても結構遠い子もいるなど思う。危険箇所、見えにくい標識、外側線、段差の在ったところなどすぐに直してもらえた。
- ・ あいさつがいい。登校時は一列で黙って歩いているが、下校時は楽しげで、それもよい。
- ・ ある校区の工事現場で車両誘導をしているが、あいさつが返ってこない。添川はいい。
- ・ 一斉通学路の点検で作成したヒヤリマップなどがある。読書ではP T Aと学校地区長会で本のプレゼントを実施している。あいさつも続けてきた。
- ・ もっと地域であいさつできるアイデアなど考えてきてほしい。学校が一緒になったとしても添川でこれだけは残していこう、大切にしたいというものを考えてきてほしい。次回までの宿題という形で。

(3) その他

- ・ 明日準備委員会がある。次はそれを受けてまた会議が予定される。